

科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	4単位	対象学年	2年	対象コース	特進コース
使用教科書	(コⅡ349) Vivid English Communication II NEW EDITION (第一学習社)			副教材等	同教科書準拠本文完成ノート, WORK & DRILL (第一学習社)		

学習の到達目標	<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。</p> <p>具体的言語活動は次の通り。</p> <p>ア. 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ. 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p>
---------	---

評価の観点			
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	b. 外国語表現の能力	c. 外国語理解の能力	d. 言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。

期	月	種	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
1 学期	4 月	1 学期 期末 考查	Lesson 1 Pictograms — Useful Signs on Streets	<p>&lt;題材内容とねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピクトグラムがもつ役割や特徴について読み取らせる。</li> <li>・外国の人々にも正確に伝わるピクトグラムのメッセージ性について自ら考えさせる。</li> <li>・新たなピクトグラムのアイデアを発表させる。</li> </ul> <p>&lt;文型・文法事項&gt;</p> <p>進行形・受け身, S+V+C(=現在分詞・過去分詞), seem to ~を理解し、文を作ることができる。</p>	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での取り組み</li> <li>・課題などの提出状況</li> <li>・評価問題</li> </ul>
			Lesson 2 Fun with Pakkun	<p>&lt;題材内容とねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パクンへのインタビューから、日米の「笑い」の文化の違い、外国語学習のコツについて読み取らせる。</li> <li>・海外に渡って生活することの意義や難しさについて自ら考えさせる。</li> <li>・好きな外国人について発表させる。</li> </ul> <p>&lt;文型・文法事項&gt;</p> <p>It is ... (for A) to ~, S+V+it+C+to ~, All you have to do is (to) ~を理解し、文を作ることができる。</p>	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での取り組み</li> <li>・課題などの提出状況</li> <li>・評価問題</li> </ul>
	5 月		Lesson 3 Origami Is Not Just a Piece of Paper!	<p>&lt;題材内容とねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・折り紙の歴史と発展について読み取らせる。</li> <li>・折り紙のもつ可能性について自ら考えさせる。</li> <li>・日本の伝統的な遊びについて発表させる。</li> </ul> <p>&lt;文型・文法事項&gt;</p> <p>It is+形容詞+that-節, S+V+it+C+that-節, S+V+O+O(=名詞節)を理解し、文を作ることができる。</p>	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での取り組み</li> <li>・課題などの提出状況</li> <li>・評価問題</li> </ul>
			Focus on Grammar ①	<p>&lt;ねらい&gt;</p> <p>文構造(S+V+C, S+V+O+C)を理解し、文を作ることができる。</p>	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での取り組み</li> <li>・課題などの提出状況</li> </ul>

学 期	月	学 期	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
	6 月		Lesson 4 Numbers Talk	<題材内容とねらい> ・言葉遊びと、さまざまな国における幸運な数字・不幸な数字について読み取らせる。 ・幸運な数字・不幸な数字の文化的背景について自ら考えさせる。 ・言葉遊びについて発表させる。 <文型・文法事項> 関係代名詞の制限用法, 関係代名詞の非制限用法, 完了形, 完了形(受け身)を理解し, 文を作ることができる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	7 月		Lesson 5 The Doctor in the Stomach	<題材内容とねらい> ・内視鏡とカプセル型ロボットの発展と, それらの利点・欠点を読み取らせる。 ・医療技術の進歩や今後の展望について自ら考えさせる。 ・新しい技術について発表させる。 <文型・文法事項> 群動詞(受け身), 進行形(受け身), 関係副詞の制限用法, 関係副詞の非制限用法を理解し, 文を作ることができる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
第1学期の評価方法				<評価の対象> ①中間考査及び期末考査の成績, ②Lesson 1～5, Focus on Grammar ①の各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。					
2 学 期	9 月	2 学 期 中 間 考 査	Focus on Grammar ②	<ねらい> 受け身の応用表現(完了・進行・群動詞の受け身), 関係詞(制限・非制限)を理解し, 文を作ることができる。	○	○		○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			Lesson 6 Nature for the Next Generation	<題材内容とねらい> ・小笠原諸島の世界遺産登録の背景と, ガラパゴス諸島の事例から得られる教訓を読み取らせる。 ・環境保護に対する自分たちの責任について考えさせる。 ・環境保護について発表させる。 <文型・文法事項> 「時」や「理由」などを表す副詞節, 分詞構文(現在分詞), 「推量」を表す助動詞, 助動詞+have+過去分詞を理解し, 文を作ることができる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	10 月		Lesson 7 A Young Man in the Sea Who Made a Change	<題材内容とねらい> ・ジョン万次郎の生涯と, 日米の架け橋として彼が果たした役割を読み取らせる。 ・世の中に変化を起こすために自分に何ができるかを考えさせる。 ・渡航経験をもつ日本の偉人について発表させる。 <文型・文法事項> 「時」や「理由」などを表す副詞節, 分詞構文(過去分詞), 関係代名詞 ... 前置詞, 前置詞+関係代名詞を理解し, 文を作ることができる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	2 学 期 末		Focus on Grammar ③	<ねらい> 副詞の働きをする句や節(分詞構文, 接続詞に導かれる節), 関係詞(関係代名詞が前置詞をとまう形)を理解し, 文を作ることができる。	○	○		○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況



学年	月	週	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
	3 月		Listen & Speak 2	<ねらい> ・英文を聞き、内容を理解して解答することができる。 ・対話文を理解して解答することができる。また、ロールプレイなどでの対話練習ができる。 <言語の働き> 「説明する、同意する」表現を用いてコミュニケーション活動ができる。 <言語の使用場面> 「日本文化」の場面の表現を用いてコミュニケーション活動ができる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			Listen & Speak 3	<ねらい> ・英文を聞き、内容を理解して解答することができる。 ・対話文を理解して解答することができる。また、ロールプレイなどでの対話練習ができる。 <言語の働き> 「同情する、助言する」表現を用いてコミュニケーション活動ができる。 <言語の使用場面> 「病気」の場面の表現を用いてコミュニケーション活動ができる。	○		○	○	
			Listen & Speak 4	<ねらい> ・英文を聞き、内容を理解して解答することができる。 ・対話文を理解して解答することができる。また、ロールプレイなどでの対話練習ができる。 <言語の働き> 「聞き直す、言いかえる」表現を用いてコミュニケーション活動ができる。 <言語の使用場面> 「海外での学校生活」の場面の表現を用いてコミュニケーション活動ができる。	○		○	○	
			Listen & Speak 5	<ねらい> ・英文を聞き、内容を理解して解答することができる。 ・対話文を理解して解答することができる。また、ロールプレイなどでの対話練習ができる。 <言語の働き> 「希望を述べる、理由を述べる」表現を用いてコミュニケーション活動ができる。 <言語の使用場面> 「将来の夢」の場面の表現を用いてコミュニケーション活動ができる。	○		○	○	
			第3学期の評価方法	<評価の対象> ①学年末考査の成績、②Lesson 10, Reading 1・2, Focus on Grammar ④, Listen & Speak 1～5の各課の評価問題の成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。					
学年の評価方法			①コミュニケーションへの関心・意欲・態度、②外国語表現の能力、③外国語理解の能力、④言語や文化についての知識・理解の4つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。						